

発達障害のある子の 将来を見据えた支援

～当事者の“楽しむ”活動を通して見えてきたこと～

NPO法人ネスト・ジャパン／NPO法人パルレ

植田みおり

発達障害を考える

発達障害とは

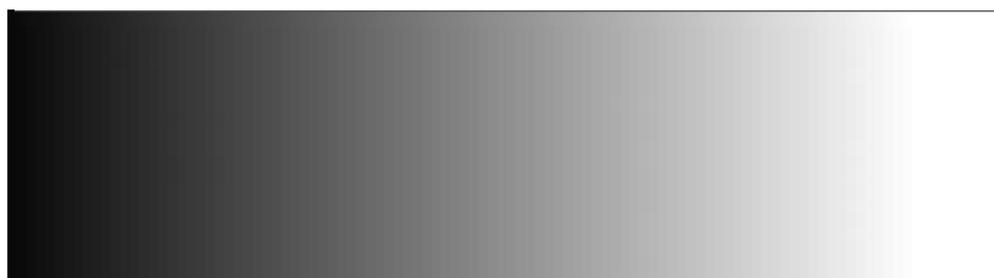
- 幼児期（もしくは乳児期！）に発達の遅れ/偏りが出現
- 成長過程において特有のスタイル・ペースを持つ
- 先天的な脳のタイプ（特性）
 - ✓ 行動
 - ✓ 感覚
 - ✓ 認知

代表的な発達障害（神経発達症群）

- 知的能力障害
- 自閉スペクトラム症
- 注意欠如・多動症
- 限局性学習症
- 発達性協調運動症
- コミュニケーション症
 - 言語症
 - 語音症
 - 小児期発症流暢症
 - 社会的コミュニケーション症
- チック症

診断概念の拡大

スペクトラム⇒同じ仲間の集合体



←濃い

薄い→

自閉スペクトラム (AS)

苦手

人とのコミュニケーション

想像すること

得意

好きなことに集中する

経験したことは忘れない

自閉スペクトラム (AS)

感覚

臭い, 見た目, 触り心地, 音に過敏/鈍磨

身体の捉え方のちがい

ASの人たち

- 暗黙の了解、場の空気の読み取りが難しい
- 融通がきかない
- 友人関係の構築や維持が難しい
- 好きなことだけには取り組み、力を大いに発揮する
- ユニークな捉え・発想の持ち主

ADHD（注意欠如多動症）

多動性



- じっとしてられない
- 行動が派手
- 声大きい
- 色々なことを思いつく

不注意



- 忘れ物が多い
- 無くし物が多い
- ケアレスミスが多い
- 集中が短い
- 片付けられない

衝動性



- 待てない
- “つい”
- 思い立ったら即行動

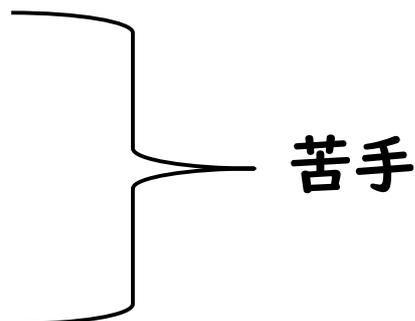
ADHDの人たち

- 遅刻が多い
- 課題・宿題が間に合わない／忘れる
- 時間の管理が難しい
- 気が散りやすく、集中できない
- 整理・整頓／片づけが苦手
- 落ち着きがない
- カツとなりやすい
- アクティブで行動力がある
- げんき！！

SLD(限局性学習症)

発達の遅れ(知的障害)はないが、

- ◆読む
- ◆書く
- ◆計算する
- ◆話す(推論する)



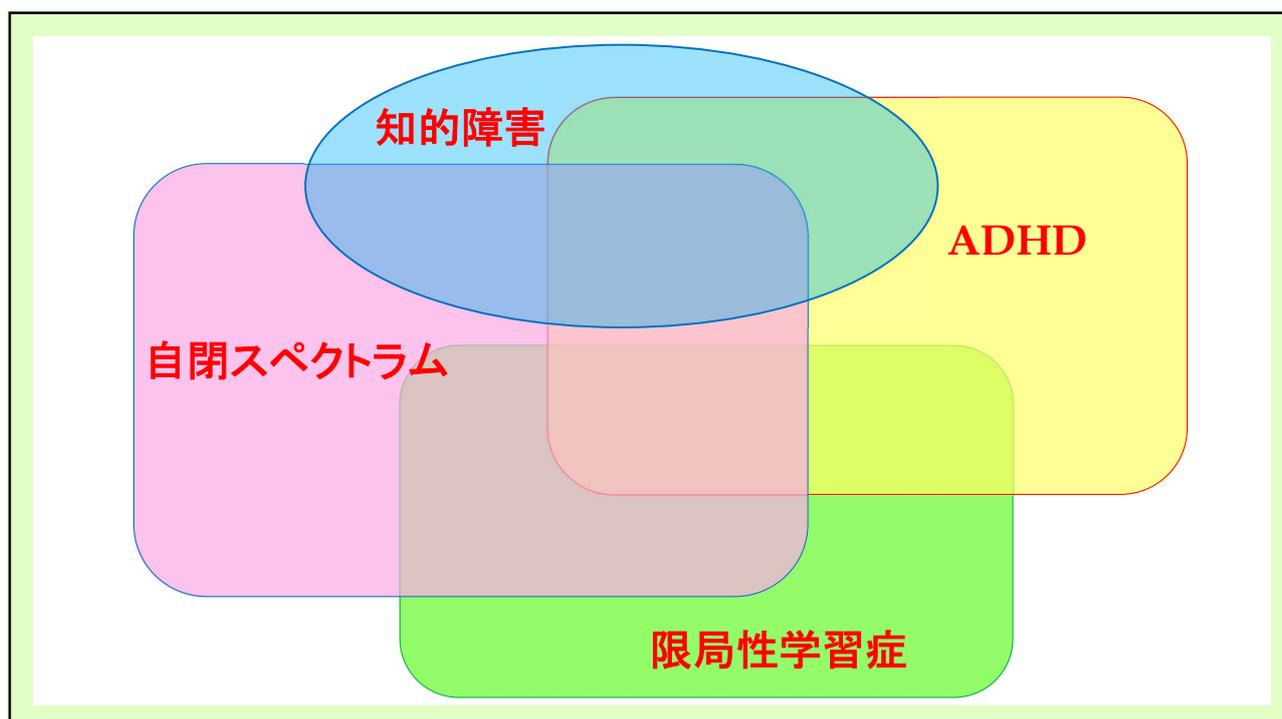
発達性協調運動症

運動苦手

- 走るのがぎこちない
- ダンスや縄跳びができない
- よく転んだりつまづいたりする

手先の不器用さ

- 文房具がうまく使えない
- 文字をうまく書けない
- 文字を書くのが遅い
- 素早く着替えられない



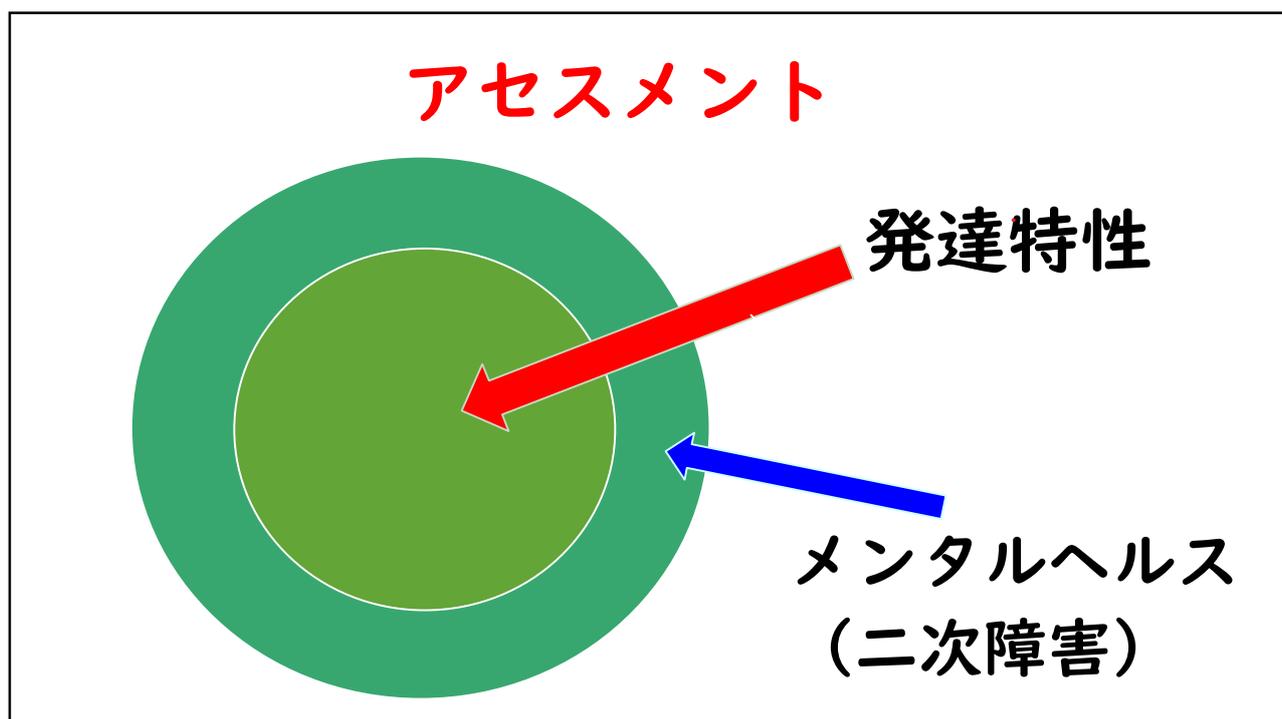
忘れてはならない本質的特徴

- 併存の仕方では特性の現れ方に変化が生じる
- 環境や育ちによって特性による困り感・支障が変化する
- 大人になっても特性は残る
- 非障害ではあるものの、悩みは残る

将来を見据えて

成人期支援の現場では

- コミュニケーションがうまくいかない
- 対人関係のトラブル
- 仕事がうまくいかない、転職が多い
- ミスをする／繰り返す
- 自分は発達障害にあてはまるのか
- 居場所が欲しい
- 進路が決まらない
- 本人への対応を知りたい
- 本人が発達障害ではないか
- 医療機関を教えてほしい



2023年 スローガン

分かってもらう

『分かってもらう』とは??

- ① どうしてその行動・発言をしたのかを考える
- ② 治療しない
- ③ 快体験の積み重ね

① こどもの言動の理由を考える

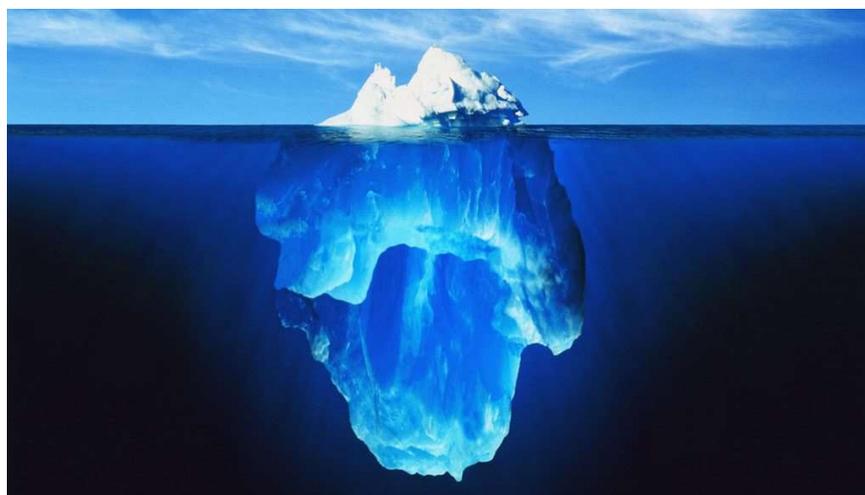
◆行動

- お友達をたたく
- 教室から出ていく
- 耳をふさぐ
- しゃべらない

◆発言

- わからない
- やらない、めんどくさい
- きらい
- 行きたくない
- 後でやる

冰山モデル



事例をみてみましょう



② 治療しない



コミュニケーションの
苦手さ

② 治療しない



工作

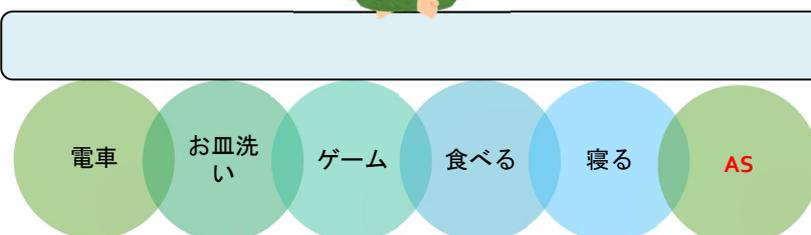
コミュニケーションの
苦手さ

妖怪
ウォッチ

② 治療しない



② 治療しない



治療しないメリット

- 好きなこと
- 得意なこと
- 趣味
- 生活スキル



心の健康

コミュニケーション

将来の選択肢・可能性

その子本来の発達

③ 快体験の積み重ね



相談スキル
自律スキル

「自閉症スペクトラムよくわかる本」 本田秀夫監修

他者との『快』体験

他者との『快』体験

たのしかった！できた！

他者との『快』体験の発達

- 好きなおもちゃがあった～
- この人と遊んで楽しかった～
- おもちゃで遊んで楽しかった～
- この人と話して楽しかった～
- （←具体物）楽しかった～
- この人と話せてよかった～
- この人ジャマじゃなかった～
- この人と話したらうまくいった～

『快』体験の発達：幼児期

好きな遊びを見つけよう！

貸し借りは置いておこう！

みんなと同じじゃなくても大丈夫！

“仲良く”は忘れよう！

好きな遊びに没頭しよう！

無我夢中で楽しもう！

『快』体験の発達：学齢期

好きな遊びを続けよう！

周りに合わせてもらおう！

自分で選んでみよう！

好きな話題で話をしよう！

勉強はそこそこでOK！

自分のスタイルを貫こう！

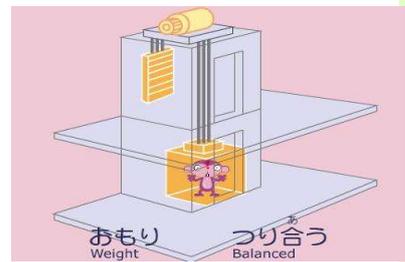
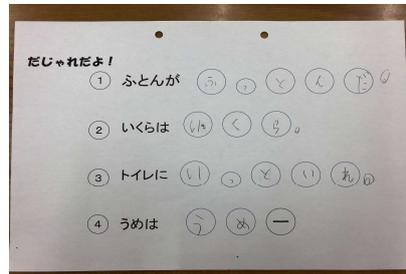
他者との『快』体験：仕切り直し（成人期）

- 好きなコンテンツがある
- この人と一緒に楽しい
- 〇〇（←具体物）が楽しい
- この人と話して楽しい
- この人ジャマじゃない
- この人と話せてよかった
- この人うるさくない
- この人と話したらうまくいった

『快』体験の発達：その極意

- A) 興味・関心
- B) 子どもが選択する権利
- C) その子（個）のスタイル

興味・関心を大事に



自分で選ぶ：幼児編



自分で選ぶ：学齢編

行く

行かない

自分で選択：ひとりでもみんなでも



自分で決める（時間）



自分のスタイル（姿勢）

正しく

自由

自分のスタイル(場所編)



自分のスタイル：学習法

手書き



ICT



『快』体験によって得られるもの

楽しかった経験とできた経験



自己肯定感と自己効力感

余暇支援

ネスト・ジャパン

- 「動物の巣」 = 活動拠点
- 「入れ子の状態にする」

意欲的に参加でき、仲間づくりをできるような活動拠点
地域社会の中に入れ子のように位置づけていく

あなたの

『好き』

をささえる

品川区思春期サポート事業 (らるーと)

本人の意向・趣味

ソーシャルクラブ

パソコンクラブ

TRPG

ボードゲームクラブ

鉄道クラブ

個別活動

デイトタイム

本格調理体験

本人活動の目的

社会的な経験、成功経験をする機会の提供

特性に合った対応（支援）をすることにより、
他者との／自分自身の「できた」「たのしい」という体験を積み重ねる

相談スキルの土台作り

困ったときに誰かに相談し、相談することで物事が良い方向に進む経験を積む

安心して過ごせる場

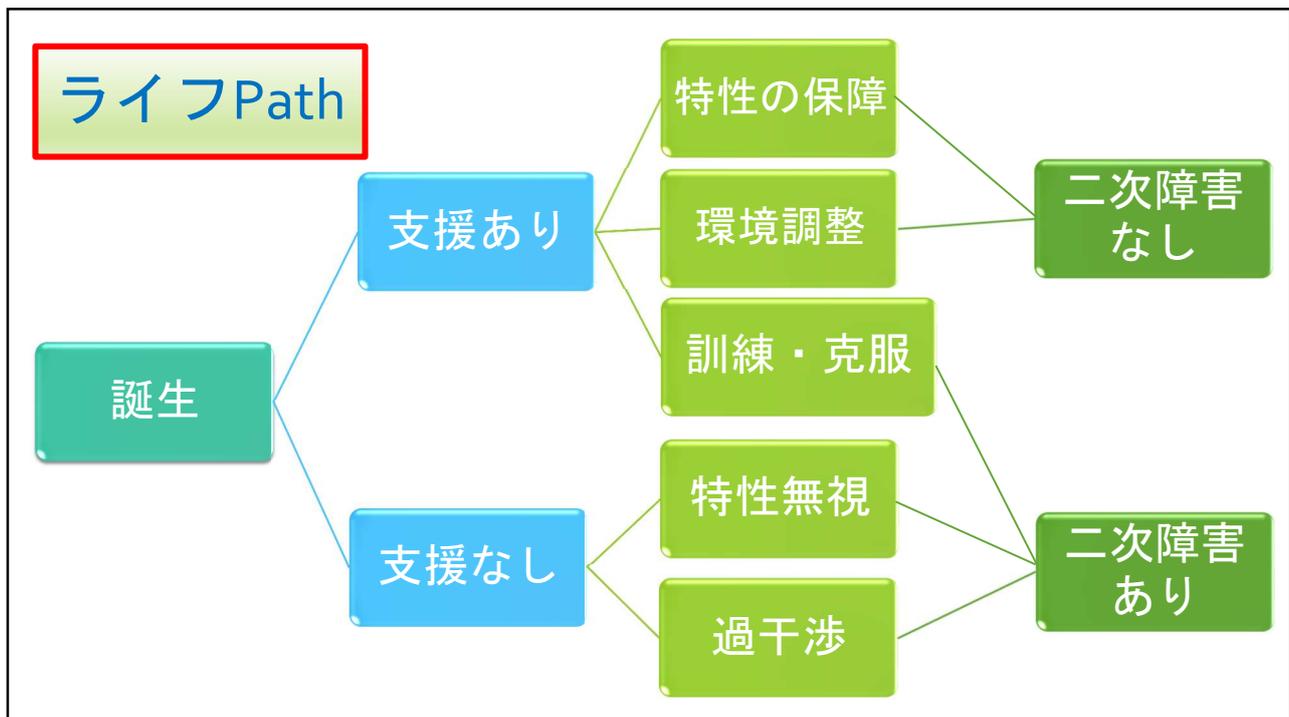
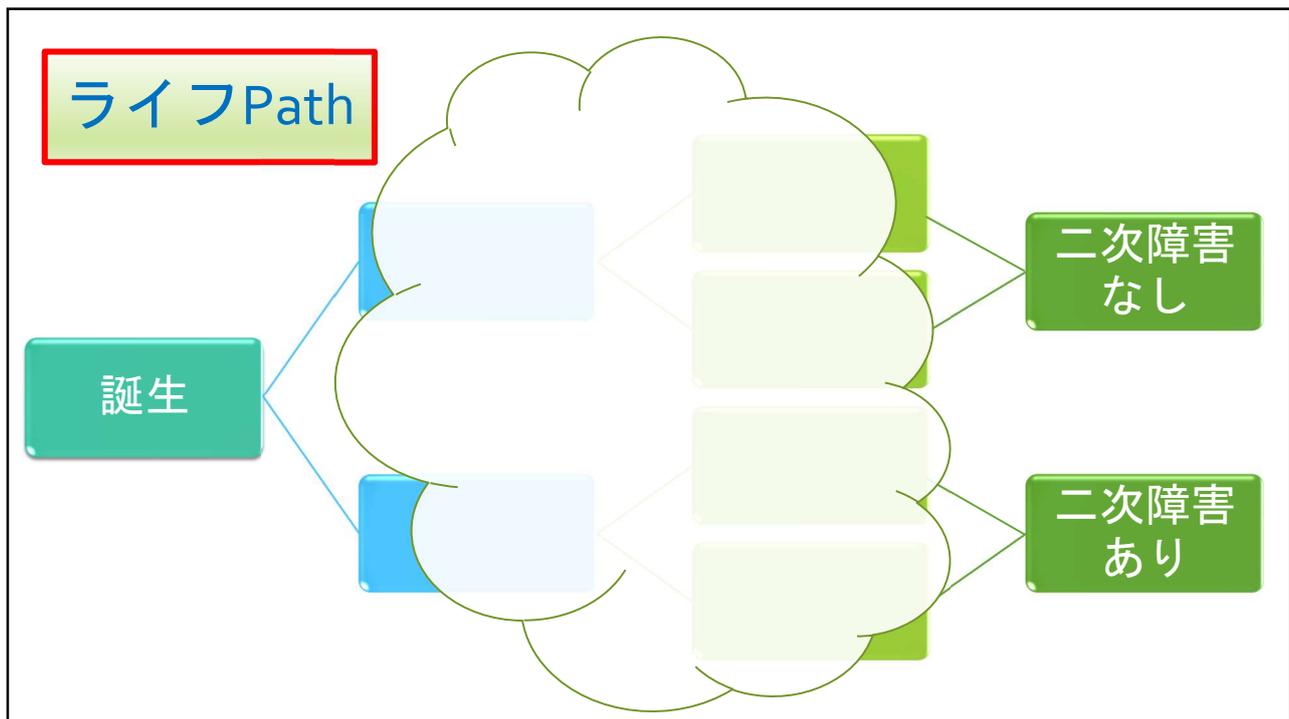
思春期サポート事業（らるーと）

< “らるーと” とはどんなところ？ >

- 自分(じぶん)の好(す)きなことをして過ごしたい。
- 話(はなし)をきいてほしい。
- 自分(じぶん)のことをもっと知(し)りたい。
- なにが得意？なにが苦手？

まとめ

～当事者の“楽しむ”活動を通して見えてきたこと～



結論：すべきことは特性の保障と環境調整

- 治療しない
 - “胸張って特性を持つ”を保障
 - できないことは助ける
 - その子らしさを認める
- 見える化
 - ぱっと見て分かる
 - 話し言葉、聞き言葉の依存回避
 - 刺激の統制
 - ICT機器の活用
 - 感覚の偏りへの配慮

子どもの発達特性を尊重

×

環境調整

||

健やかな将来

本人がすべきこと

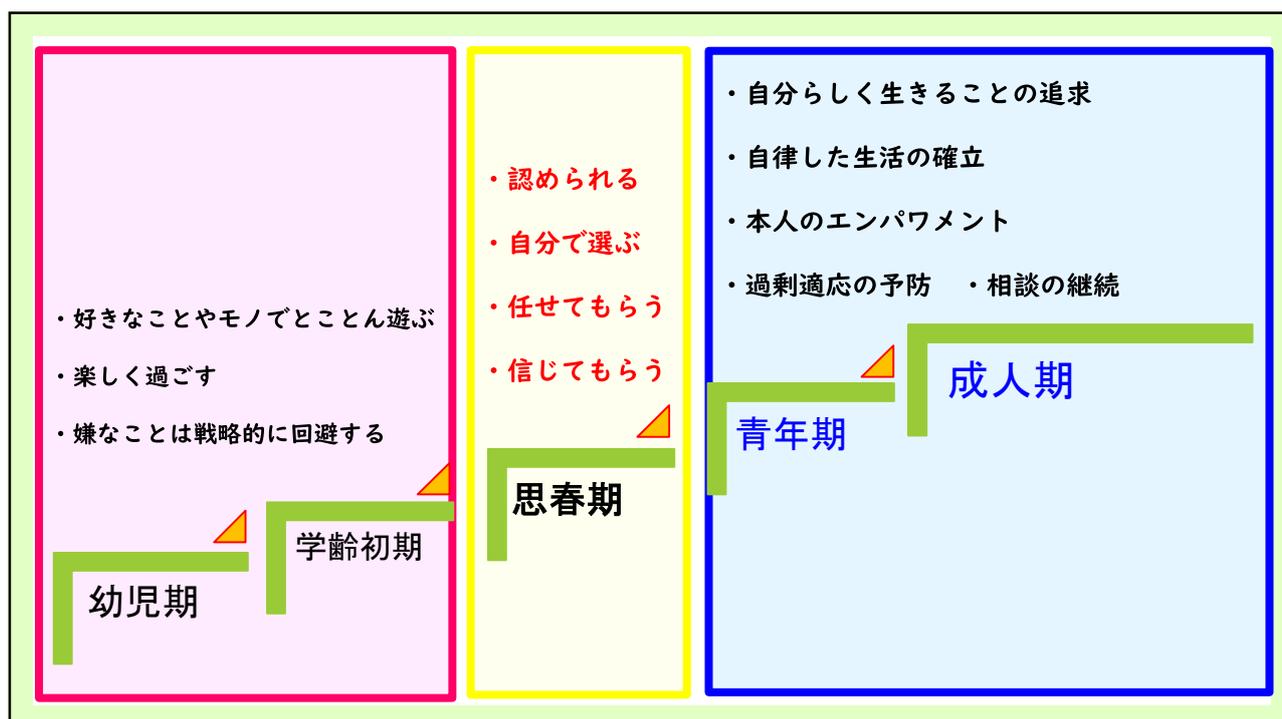
- ◆胸張って特性を持つ
- ◆できないことは助けてもらう
- ◆好きなことに邁進

周囲がすべきこと：番外編

誰かと一緒に

悩みすぎない（がんばりすぎない）

疲れたらSTOP！！



ありがとうございました

